



本店

プロフィール

設立	昭和63年4月1日(合併)
本店所在地	安中市原市668-6
出資金	7億2百万円
代表者	理事長 新野 正行
預金残高	2,147億円
貸出金残高	814億円
役員数	242名
店舗数	22店舗
	(平成30年3月31日現在)



営業地区

富岡市、安中市、高崎市、
藤岡市、前橋市、甘楽郡、
多野郡、佐波郡玉村町

※前橋市は旧大胡町、富士見村、
宮城村、粕川村を除く地区



当組合のシンボルマークは、群馬県信用組合のイニシャル“G”が上昇していく形です。これは地域社会と当組合がともに発展し、成長していく姿を表しており、“G”が形づくる円形とその動きは、それを実現していくために、当組合が柔軟かつ、きめ細かに地域を応援させていただく姿勢を示しております。

目次

●はじめに

プロフィール	1
ごあいさつ	2
経営理念・長期経営計画・中期経営計画	3
組合誕生30周年を迎えて	4
事業の概況	5
決算概況	6

●地域を応援する取り組み

中小企業の経営の改善および 地域の活性化のための取り組み状況	7
地域とのふれあい	11
金融サービスを通じた取り組み	15

●コンプライアンス等への取り組み

コンプライアンス態勢	17
リスク管理への取り組み	21

●各種サービスのご案内

業務のご案内	23
各種手数料のご案内	27

●ガバナンスの充実状況

群馬県信用組合の概要	28
組合員と総代会制度	29
群馬県信用組合ネットワーク	31

●資料編

法定監査の状況	33
財務諸表	34
営業の状況	39
リスク管理債権と金融再生法に基づく開示債権の状況	45
自己資本の充実の状況	46
連結決算の状況	52
連結における自己資本の充実の状況	54

ごあいさつ



皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
 平素は群馬県信用組合をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。
 当組合は「創造と貢献」を経営理念に掲げ、地域の皆さまとのふれあいを大切にし、地域社会の活性化や地域の皆さまの豊かな暮らしづくりに貢献することを使命と考え、日頃から業務に取り組んでおります。
 おかげさまで、昭和63年に西群馬信用組合と碓氷信用組合が合併して発足した群馬県信用組合は、本年4月に30周年を迎えることができました。
 これもひとえに、地域の皆さまによるご支援ご鞭撻の賜物と存じ上げており、厚く御礼申し上げます。

このたび、「けんしんようの現況2018」を作成し、当組合の経営方針や業績内容等についてご報告いたしますので、ご高覧いただければ幸いに存じます。

平成29年度の国内経済につきましては、個人消費や設備投資が持ち直し、雇用・所得環境も改善傾向となり、緩やかな景気回復基調にありました。

しかしながら、金融面におきましては、貸出金利の低下などにより金融機関の利鞘縮小は収まらず、厳しい経営環境が続きました。

こうした中、当組合の平成29年度における活動につきましては、「長期経営計画『クオリティ・アップ』」に基づいて平成27年4月から開始した「中期経営計画『クオリティ・アップ1stステージ』」が最終年度を迎え、中小・小規模事業者さまへの円滑な資金供給はもちろんのこと、地域経済の活性化につなげるために、さまざまな外部機関・外部専門家と連携を図ることで創業・起業支援や経営改善、再生支援などの分野を強化し、また、職員教育についても、これまで以上に使命感を持って取り組んでまいりました。

平成30年度より、新たに「第2次中期経営計画『クオリティ・アップ2ndステージ』」がスタートいたしました。

当計画におきましては、「持続可能なビジネスモデル【収益確保】の構築に向けた取り組み」を骨子に掲げ、人口の減少やマイナス金利政策の長期化など経営環境が一層厳しくなっていく中においても存続が可能なビジネスモデルを構築し、当組合の経営ビジョンである「お客さまのご要望に素早く適確にお応えするため、誠意と熱意とフットワークで行動する金融機関になる」べく、役職員が一丸となって地域密着型金融の推進に取り組んでまいります。

皆さま方におかれましては、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月
 理事長 新野 正行